

平成27年度 第1回文化財保護審議会 会議録

〔事務局〕 文化財課

〔開催日時〕 平成27年7月31日（金曜日）午後1時30分～3時

〔開催場所〕 伊勢原市青少年センター 2階 工芸室

〔出席者〕

（委員）鈴木良明（会長）、川島敏郎（副会長）、清水擴、佐藤健、永井治子、山本勉

（事務局）鈴木教育長、山口歴史文化推進担当部長、立花課長

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

《審議の経過》

第一部 伊勢原市文化財保護審議会委員の委嘱状交付式

第二部 伊勢原市文化財保護審議会

1 正副会長の選出

会長は鈴木良明氏、副会長は川島敏郎氏が選出された。

2 あいさつ

3 報告事項

（1）高部屋神社本殿・拝殿及び弊殿の登録有形文化財建造物の申請について

資料5を用いて、事務局より説明

（2）（仮称）伊勢原北インター周辺の埋蔵文化財試掘調査について

資料6を用いて、事務局より説明

〔委員〕この調査成果をどのように活かしていくのか。

〔事務局〕内部で最終確認をしたうえで、担当部局へ提示し、そこで地元と調整しながら、埋蔵文化財の状況を踏まえた土地利用のあり方を検討してもらうことになる。

（3）大山バイパス建設に伴う埋蔵文化財調査成果について

スライドを用いて、事務局より説明

（4）宝城坊厨子の年輪年代調査について

スライドを用いて、事務局より説明

（5）堀江家住宅寄附の受け入れについて

資料7を用いて、事務局より説明

（6）「日本遺産」登録について

（7）「歴史文化基本構想」策定及び「日本遺産」登録に向けたスケジュールについて

（8）「歴史文化基本構想」について

（6）～（8）について策定委員会資料1、2、3、4を用いて、事務局より説明

〔委員〕「日本遺産」の当初審査はタイトルとストーリーの提出で、それを通過すると2次審査になるということか。

〔事務局〕 まず県へ提出し、県が2件に絞るのが1次審査。次のステージは文化庁へ資料を提出し、日本遺産審査委員の審査となる。

〔会 長〕 ストーリーの文言のウェイトが大きい。インパクトのあるタイトルが必要と感じる。

観光や土地利用など他部局とのコーディネーター機能を持つなど、他市とは違う伊勢原ならではの取り組みの姿勢を出せると面白い。

〔事務局〕 内部で研究する。

4 その他

〔事務局〕 新たな新指定文化財や、新規登録を進めていきたいと考えているので、御協力をお願いしたい。